



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエス三菱
代表者名 取締役社長 延 増 喬 史
(コード番号 1871 東証第 1 部)
問合せ先 経 理 部 長 松 本 俊 章
(TEL. 03 - 6385 - 9111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 19 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	135,000	1,100	1,300	2,400
今 回 修 正 予 想 (B)	133,000	2,600	2,800	3,900
増 減 額 (B - A)	2,000	1,500	1,500	1,500
増 減 率 (%)	1.5	-	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 19 年 3 月 期)	145,674	2,959	3,060	9,686

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	123,600	1,200	1,300	2,400
今 回 修 正 予 想 (B)	120,600	2,890	2,960	3,870
増 減 額 (B - A)	3,000	1,690	1,660	1,470
増 減 率 (%)	2.4	-	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 19 年 3 月 期)	133,989	2,930	2,917	9,800

3. 修正の理由

(1)個別業績予想

土木工事では、平成 18 年度以前に受注した低採算工事が工事原価増加、売上高の減少等により予想以上に利益悪化したこと、また、受注減少、工事進捗遅れによる利益減ならびに当期受注工事で一部不採算工事が発生したことにより土木全体で約 15 億円悪化し、建築工事では主に大型マンション工事で追加工事原価計上により約 4 億円悪化しました。販管費を 2 億円削減したものの結果として営業損失及び経常損失が 17 億円増加する見込です。当期純損失につきましては、投資有価証券売却益 4 億円、退職加算金減少 5 億円がありましたが、減損損失追加計上 7 億円などにより全体として 15 億円悪化し 39 億円の損失となる見込です。

(2)連結業績予想

連結業績予想につきましては、主に個別業績予想の修正に伴い、予想の修正を行うものであります。

4. 配当予想の修正

配当金につきましては期末配当予想 3 円とさせて頂いておりましたが、前回修正時点での予想を大きく上回る損失となるため期末配当を見送り無配とさせていただきます。

この時期での配当見送りのお知らせとなったことを深くお詫び申し上げますと共に、何とぞご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。一日でも早く復配できますよう社員一同全力で業務に励む所存でありますので、今後とも一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

5. 20 年度の施策

平成 19 年度の業績悪化を踏まえ、平成 20 年度は次の施策を行うことにより業績回復を図ってまいります。

- ・ 組 織

5 統括支店(10 支店)を 3 支社(7 支店)に組織変更し、支社にて業績を集中管理し支店は営業に特化する。

- ・ 受注管理

土木・建築共に受注時の利益目標を明確に設定し、本社及び支社において厳しく査定管理し低採算工事を排除する。建築の大型マンション工事については従来に増して査定を厳密化する。

- ・ 業績管理

各支店の工事部門・管理部門を支社に集約することにより、技術提案力の強化と共に原価管理の強化を図る。また、配置可能な技術者の確保により、施工体制の効率化を実施し、利益向上を図る。

- ・ コ ス ト

役員以下、上位管理者の更なる報酬・年俸のカットを実施すると共に、その他経費のより一層の削減を図る。

以 上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。